

茶華道部(華道)

昭和 56 年秋に華道部が発足し、昭和 63 年より茶道部が加わりました。
現在「茶華道部」として一つの部となっていますが「華道」「茶道」別々に活動しています。今回は「華道」の活動について紹介します。

<主な活動内容>

- ・毎月 2 回、水曜日の放課後に小原流の先生を講師としてお迎えし、活動しています。
- ・梅や向日葵などの季節ごとの様々なお花を使って、いろいろな形の花器や生け方で生けます。
- ・普段見る機会のないお花を使用したり、季節ごとのイベントに合わせたお花を生けたりしています。

<年間行事>

6 月…毎年文化産業会館で行われる文化祭では、会場の 1 階ロビーにて、それぞれが生けた作品の展示を行います。

今年は文化祭の規模が縮小されてしまって、学校で開催されましたが
玄関前などにお花の展示を行いました。



8 月…今年はコロナウイルスで参加できませんでしたが、大阪で開催される「大阪地区・学生いけばな競技会」に毎年 2 年生が参加します。

関西で華道をしているたくさんの学生の方々と、同じお花を使って生けます。
様々な生け方を勉強できるのでとても面白いです。

3 月…卒業式では、玄関や廊下、校長室に飾るためのお花をいけます。



あたらしい生活様式にむけて

<部長より>

この部活に入っている人は、今までの先輩を含め、高校から華道を始めた部員がほとんどです。華道は古くから日本にあるため、日本の文化を学ぶことができます。また、今は華道ができる若い人も少ないので、他の人とは違う特技を持てます。

<顧問より>

お花はどんなときでもあなたのそばに寄り添い、あなたを見守っています。
 うれしいとき、楽しいとき、悲しいとき、いろいろなとき。
 部活動で習ったお花は家に持ち帰って自由に飾ってもらっています。

